

# 練馬区この1年

平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月



スポーツ祭東京2013

平成25年**4月****1日 練馬区暴力団排除条例が施行**

暴力団排除活動の基本姿勢を明らかにするとともに、区民が安全で安心して暮らすことのできる生活を確保し、事業活動の健全な発展に寄与することを目的として制定。

**1日 豊玉第二中学校改築工事着手**

補強工事による耐震化が困難な校舎棟において改築工事に着手。省エネルギー化や緑化推進などを実施し、環境にやさしいエコスクール化を図る。また「小中連携教室」として4教室分のスペースなどを整備する。

**2日 区の人口が71万人を突破**

登録人口（住民基本台帳に登録された人口、外国人を含む。）が710,055人となった。23区別に見ると、世田谷区に次いで2番目に多い。（平成25年4月現在）

**3日 上田市および上尾市と「災害時における相互応援に関する協定書」を締結**

長野県上田市および埼玉県上尾市とそれぞれ「災害時における相互応援に関する協定」を締結したことで、大規模な災害が発生した場合に、相互に職員の派遣を含む総合的な活動ができるようになった。

なった。

**23日 南大泉図書館分室「こどもと本のひろば」が開館 写真①**

乳幼児から小学校低学年までの子供たちとその保護者を主な対象に、安心して読書や事業を楽しめる空間づくりを目指していく。また、施設には壁面緑化や太陽光発電を設置し、環境にも配慮している。

**5月****8日～14日 民生・児童委員 パネル展開催 写真②**

5月12日の「民生委員・児童委員の日」に合わせて区で初めて行われた。民生・児童委員の歴史や制度などの紹介をはじめ、委員が地域のイベントや防災訓練への協力など、幅広い活動を行っている様子が展示された。

**15日 バンコク環境局職員 区のごみ処理現場を視察 写真③**

タイのバンコク環境局職員30名が区を訪れ、区のごみ収集場での回収・分別作業の様子や、使用済み食用油（廃食用油）のバイオディーゼル燃料への精製過程などを視察した。また、区の廃棄物処理計画等のリサイクル・廃棄物施策についての研修を受けた。



① | ②  
③



## 6月

## 1日 赤ちゃんのいる家庭に禁煙スタート券を配布

写真④

赤ちゃんが誕生したすべての家庭に助産師・保健師が訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」の際に、喫煙者が同居する家庭に2,000円分の禁煙スタート券（区内禁煙支援薬局で禁煙補助剤の購入に使用できるクーポン券）を配布する事業を開始した。

## 1日 区有地を活用した特別養護老人ホームが開設

区では初めての区有地（平成21年度廃止の学校給食第一総合調理場跡地）を民間事業者は無償で貸し付け、整備を行った「特別養護老人ホーム第3育秀苑」が開設した。

## 1日 ねりま区報創刊 60 周年記念特集号を発行

写真⑤

練馬区の広報紙「ねりま区報」は、昭和28年（1953年）5月11日に創刊してから60周年を迎えた。これを記念し、「ねりま区報創刊60周年記念特集号」（タブロイド判4ページ。6月1日発行の通常号に挟み込み）を発行した。

## 1日 グループ型家庭的保育事業を開始

区内私立認可保育所に雇用された複数の保育士

などが協力して乳幼児を保育する新たな事業を開始した。

## 12日 「ねりま若者サポートステーション」が開設

写真⑥

就労や進路決定に悩む若者の相談に応じたり自立を支援したりする厚生労働省の地域若者サポートステーションを春日町青少年館内に誘致開設した。教育委員会が担当することで、中学校や不登校支援事業とも連携し、幼少期から青年期までの切れ目のない支援を目指していく。

## 28日 第65代議長に小泉純二氏、第67代副議長に吉田ゆりこ氏が就任

第二回区議会定例会で、小泉純二議員が議長に、吉田ゆりこ議員が副議長にそれぞれ選出された。

## 7月

## 18日 練馬障害福祉人材育成・研修センター事業を開始

23区初の障害福祉に特化した研修センターを開所した。「障害特性を理解したうえで、一人ひとりに合わせた適切な支援をしてほしい」という障害当事者の声を受け、区が長期計画に基づき準備を進め、社会福祉法人練馬区社会福祉協議会に事業を委託することとなった。



4 | 5  
6



## 8月

1日 住民票や戸籍などの証明書に「ねり丸」が登場  
写真⑦

区民にアニメへの愛着を深めてもらうとともに、「アニメのまち練馬区」をアピールすることを目的に区民に最も身近な証明書などにアニメキャラクターを取り入れてきた。更なるイメージアップを図るため、これまでの松本零士氏原作「銀河鉄道999」のキャラクターデザインに、練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」を加えることとした。

1日～18日 夏休み子ども向けねり丸スタンプラリーを開催  
写真⑧

ねりま区報創刊60周年記念事業の第2弾として、夏休み期間中の小中学生や未就学児とその保護者を対象に、楽しみながら区立施設を巡り、展示・イベントなどで学んでもらうとともに、練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」に一層の愛着を持ってもらうため、「夏休み子ども向けねり丸スタンプラリー」を開催した。

21日 「アトリウムミニステージ」が200回を迎える  
写真⑨

区民に身近な場所で気軽に文化芸術に親しんでもらおうと、平成8年12月に区役所アトリウムの完

成を記念して始まった「アトリウムミニステージ」が200回を迎え、特別公演を行った。

## 9月

## 1日 区立学校、幼稚園、学童クラブ、保育園の保護者を対象に緊急一斉メール連絡網を導入

緊急時の多様な連絡手段を確保するため、あらかじめ登録した保護者のメールアドレスに園児、児童、生徒に関する情報を配信する「学校連絡メール」「学童クラブ連絡メール」「保育園連絡メール」システムを導入した。

## 17日 練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」ゆるキャラ®グランプリ2013に立候補

昨年より少しでも上位に食い込むために、今年は、区の若手職員を中心としたキャラバン隊を初めて編成し、地元・練馬駅で選挙活動をスタートさせた。

## 29日 スポーツ祭東京2013（東京国体）銃剣道競技会を開催

区立総合体育館で、全国47都道府県から180人の選手と大勢の関係者が集まり開催した。





## 10月

### 1日 高次脳機能障害などの中途障害者を対象とする通所事業を開始 写真⑩

心身障害者福祉センターにおいて、高次脳機能障害などの中途障害者を対象とする通所事業を開始した。自立訓練事業（機能訓練・生活訓練）と地域活動支援センター事業を、同一施設内で運営することにより、効果的なサービスの提供を目指していく。

### 1日 練馬区公式フェイスブックを開設 写真⑪

練馬の魅力を発信する新たな情報発信媒体として、練馬区公式フェイスブックを開設。区のイベント情報や新たな施策、まちの話題、取材時の様子など、区報や区ホームページで伝えきれない様々な練馬の魅力「ねりまって、いいね!」を発信している。

### 15日 住民税の証明書を自動交付機で発行開始

これまで、住民票の写しと印鑑登録証明書の2種類を自動交付機で発行していたが、住民税に関する証明書の発行を開始した。取得できる証明書の種類を増やすことで利便性を向上させ、自動交付機の利用を拡大していく。交付手数料は1通200円。また、窓口よりも利用できる時間が長い。



## 11月

### 1日 PR 冊子「アニメ・イチバンのまち 練馬区」を発行 写真⑫

区とアニメの深い関わり、またその魅力を区内外に発信するため、PR冊子「アニメ・イチバンのまち 練馬区」を発行した。東映アニメーションや虫プロダクションなど、区内のアニメ関連会社の全面協力を得て、日本初の劇場用長編アニメ「白蛇伝」から始まるアニメ年表を筆頭に、今もアニメ界の最前線で制作され続けているアニメ作品が多数紹介されている。

## 12月

### 2日 「就労応援ねりま」を開設

区は、東京労働局、ハローワーク池袋と、雇用と福祉の施策を一体的に実施するための協定を締結し、練馬総合福祉事務所内に「就労応援ねりま」を開設。ハローワーク池袋の就職支援ナビゲーター2名が常駐し、生活保護受給者など生活にお困りの方がハローワークの窓口に出向くことなく、就労支援を受けられるようになった。



## 17日 区立学校へ「不審者対応の手引き」を配布

写真⑬

区教育委員会は、区内で発生した児童切り付け事件を教訓として、新たに「不審者対応の手引き」を作成し配布した。手引きは、学校に不審者が侵入した場合の対応および登下校時に緊急事態が発生した場合の対応を中心に構成している。区内私立幼稚園にも1月に配布した。

平成26年 1月

## 24日 医薬品卸売販売業者7社と「災害時協定」

区は、医薬品卸売販売業者7社と「災害時における医薬品等の供給協力に関する協定」を締結した。震災などの災害時に、区の協力要請に応じて医薬品卸売販売業者が、医薬品、衛生材料、医療器具等を供給する。医薬品卸売販売業者は、区が指定する区内の医療救護所（区立中学校10校）に医薬品等を直接搬送する。

## 30日 練馬区新聞販売同業組合と災害時の情報提供・収集に関する協定を締結

区は練馬区新聞販売同業組合と「災害時における情報の提供および収集に関する協定書」を締結した。同組合は、区内で朝日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞、毎日新聞、読売新聞を扱う新聞販売店58店で構成されている。協定内容は、災害時に区が開設した避難拠点（区立小中学校99校）に区が発行する臨時広報紙を届けることなど4

項目としている。

## 2月

## 9日 東京都知事選挙実施

## 11日 区民と区が協働して冊子「食と防災」を作成

写真⑭

区は、区民との協働により、冊子「食と防災」を作成し配布した。冊子の作成は、練馬区協働事業提案制度で採択された事業。災害時に電気・ガス・水道が停止しても、家にある食材を活用し健康に配慮した食生活を送るための知恵や工夫を、具体的なレシピとともに豊富なイラストや写真で紹介している。

## 23日 第17代区長志村豊志郎氏（81歳）が逝去

平成15年4月から3期11年にわたり、区の発展のために尽力された。

## 3月

## 18日 練馬区「街かど安全71万区民の目」警戒運動に関する覚書を締結

区と区内の各警察署、各防犯協会は、練馬区「街かど安全71万区民の目」警戒運動に関する覚書を締結した。地域住民が外出時に防犯を意識した行動をすることで、地域の犯罪抑止力を高めることができる。そのため、区、警察署、防犯協会が連携して取り組む。

